

くじらさんになって半分以上が過ぎ、改めて登降園の自分の持ち物について話しました。自分のリュックは自分で背負って登降園し、朝・帰りの用意をしているかな？の質問に、自信を持って殆どの子どもが手をあげる一方、自分の持ち物が家のどこにあるかを知り、持ち物の用意を自分でしてみようとしているかな？の質問に「・・・。」と首を傾け黙り込んでしまうくじらさん。何が必要か、自分で使う物を自分で用意することによって、意欲的に生活する力へとつながっていきます。残り数ヶ月、自ら生活に向かっていく力、身につけていきたいですね。

先日、朝顔の種取りをし、チューリップ植えに向けて土作りをしました。きれいな花が咲くように栄養たっぷりな腐葉土を伽藍山へ行き集めることに。植木鉢に入っていた土とは違い「腐葉土ツテフワフワシテルナア」「栄養タツプリヤカラ虫トカ幼虫モタクサンイルンヤナア」と肌と目で見て感じ取った子どもたち。遠足では芋畑の土(子どもたちいわく「岩ミタイニ固カッタナア」)にも触れ、色々な“土”の違いを感じた日となりました。



くじらチーム11月号